

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育センターらいふ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日 ～ 2026年 1月 23日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55 (回答者数)	38
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日 ～ 2026年 1月 23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者の満足度が高く、日頃の支援を評価してもらえている	・児童の成長を家族、支援者が共有し、喜び合える関係づくりをしている。	・児童が楽しみに通い、安全な生活ができる場としたい。 ・児童の成長した部分を親と喜びを共有していきたい。
2	・適切な支援の提供が、個別支援計画など、日々のカンファレンスで共有をされている。	・支援員も含め、個別支援計画やカンファレンスで課題を共有できている。 ・必要に応じて、学校との支援会議が開催された。 ・視覚的にわかりやすい環境づくりにこころがけ、遊びの充実にこころがけている。	・日々の課題は必ず解決出来るようにしていきたい。 ・必要に応じた支援会議を開催していく。 ・年に数回(学期ごと)支援員との懇談会をし、個々の支援に生かせる取り組みを継続していく。
3	・環境が整えられ、子どもたちの活動が充実している。	・宿題をする場がなかったので、ホールの改修時に学習室を設置した。	・季節ごとの活動の内容が豊かになる環境づくりをしていく(クリスマス、水遊び、焼き芋会等) ・学習室を作ったり、学習に集中できる環境を作る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の参加できる研修の機会が少ない。	・就労の親が多く、土、日曜日に計画した研修は参加が少なく、 どの様な企画ができるか難しさがある。 ・今年度も実施できなかった。	・保護者の要望、ニーズに答えて懇談会、学習会等の開催を 保護者も含め企画ができると良い。
2			
3	・第三者による外部評価が十分に行われず、業務改善に課題が残る。	・委員会の設立が準備段階であり、評価ができていない。	・委員会の設立はできないが、委員の放課後デイへの参観は可能なで実施していきたい。